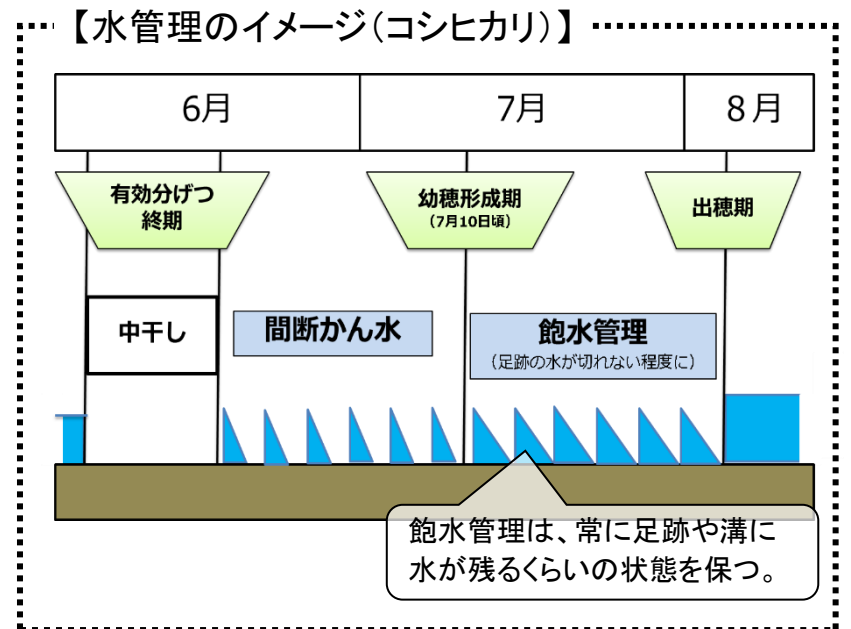


## ～ 3年連続の一等米比率90%以上を目指し、H29JAなのはな米品質向上運動を実施中 ～

生育は、おおむね平年並みに推移していますが、茎数の増加が著しい圃場も見られます。各圃場の生育状況等を確認し、中干しやその後の水管理等の栽培管理を遅れずに行いましょう。

### 1 中干し後の水管理

- ・ 中干しを実施していない圃場は、早急に中干しを行いましょう。
- ・ 中干し後は、「**間断かん水**」を行い、葉色の急激な低下を防ぐため、干し過ぎに注意しましょう。
- ・ 幼穂形成期から出穂期までは、稲体の水分要求量が高まるので、「**飽水管理**」で稲の活力を維持しましょう。

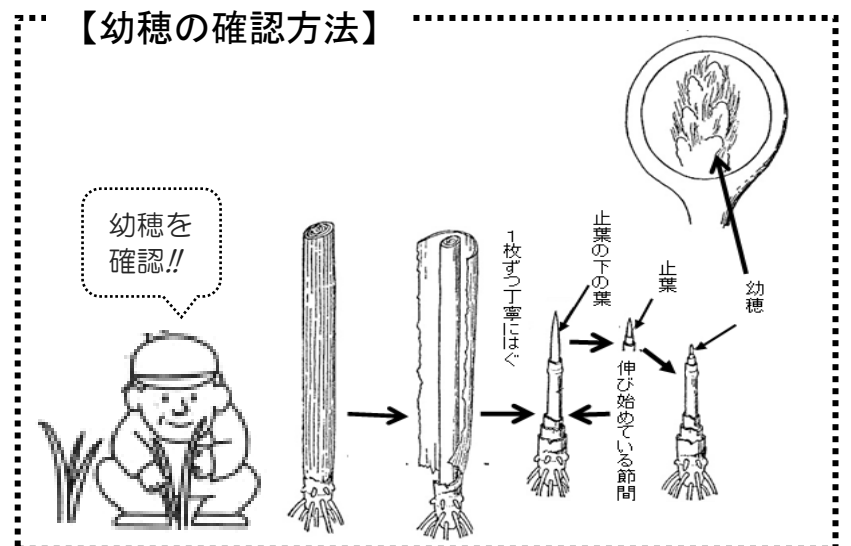


### 2 てんたかくの穂肥

○てんたかくの穂肥の施用時期及び施用量の目安(※)

穂肥	施用時期	肥料名	10a 当り施用量
1回目	6月26～29日頃 (注:幼穂長1～2mmを確認した頃)	追肥化成3号	10～12kg
2回目	1回目の10日後	追肥化成3号	12～13kg

※ 5月連休田植え・分施肥体系の場合  
不明な点は、営農指導員・普及指導員にご相談ください。



### 3 草刈りの徹底

斑点米の発生原因であるカメムシ類は、イネ科雑草の穂を好み、畦畔や水田周辺の雑草地で増殖します。

また、近年増加している「アカスジカスミカメ」は、水田内のノビエやホタルイの穂を好みます。

これら斑点米カメムシ類の発生を防ぐには、農薬による防除の前に草刈りの実施でカメムシの餌場を無くし、生息密度を低くすることが重要です。

草刈り運動期間中に草刈りを実施し、地域全体でカメムシの発生源を減らしましょう。

**草刈り運動期間: 7月1日～10日**  
**<一斉草刈日: 7月1日(土)～2日(日)>**

【斑点米と主な斑点米カメムシ類】

目安として、玄米 1000粒に2粒混じると2等米に格下げ!!

<主な斑点米カメムシ類>

アカヒゲ ホシムド リカシマカ アカスジ カスミカメ トゲ ソラホカメムシ

<草刈りの際は以下に注意>

- ★ 刈った草は、用排水路に流さないようにしましょう。また、草刈りで道路を汚したら、すみやかに片付けましょう。
- ★ 草刈り機によるケガに十分注意し、草刈り中、近くを人や車が通過する時は、小石等が飛散しないよう注意しましょう。